

1 主題名 自由と責任について考える A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任

2 資料名 「修学旅行の夜」 (出典 新しい道徳)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

本主題は、小学校学習指導要領第5学年及び第6学年の内容項目Aの「主として自分自身に関すること」の(1)「物事の善悪についての確に判断し、自ら正しいと信じるところに従って主体的に行動すること、自由を大切にするとともに、それに伴う自律性や責任を自覚すること」をねらいとしている。

この時期の児童は、自主的に考え、行動しようとする傾向が強まる時期である。一方で、自由の捉え違いをして相手や周りのことを考えず自分勝手な振る舞いをしてしまうことも見られる。また、自律的で責任のある行動をすることの意味やよさが分かりにくい児童もいる。自由と自分勝手との違いや、自由だからこそのできることやそのよさを考え、自由な考えや行動のもつ意味、その大切さを実感することが大切である。また、自由に伴う自己責任の大きさについては、自分の意思で考え判断し行動しなければならない場面やその後の影響を考えることなどを通して、多面的・多角的に理解できるようにすることが重要である。そこで、自由と自分勝手の違いを考えて責任ある行動をしようとする道徳的判断力を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

児童は、委員会活動や縦割り班活動等において、高学年として責任をもって自分の仕事を行っている。しかし、高学年として自分の考えが尊重される機会が多いことや、小規模校の特質として、自分の考えが通りがちなことから、その後どうなるかを考えずに判断してしまったり、相手がどのような気持ちになるかを考えずに自分の都合を押し通してしまったりするなど、自由と自分勝手を混同している児童もいる。

ねらいとする道徳的価値にかかわる実態調査 4名(5年2名, 6年2名) 6月8日実施

- | |
|--|
| <p>① あなたの考える「自由」とは何ですか。
 ・何でもできる, 好きなことができる(2名) ・だれにもしぼられない(1名)
 ・習い事や誰とも話していないとき(1名)</p> <p>② 「自由」は大切だと思いますか。
 ・そう思う(3名) ・そう思わない(1名)</p> <p>③ 「自由」にしていること「自由」にできていることはありますか。
 ・ある(2名) ・どちらかと言えない(2名)</p> <p>④ あなたが考える「自分勝手」とは何ですか。
 ・勝手に行動すること(2名) ・自分1人で行動すること(1名)
 ・人のことを考えないこと(1名)</p> |
|--|

アンケートの結果から、自由と自分勝手を全く異なるものと認識をしている児童が多いが、一方で、その違いを明確には捉えることができていないことがわかる。また、自由は大切であるが、時間的に与えられていないと感じている児童と自分のために自由な時間を作っていると考える児童が半々に分かれた。そこで、自由と自分勝手の違いについて考え、話し合うことを通して、自由と自分勝手は自己の判断力を問われる場面があることに気づき、責任ある行動をしようとする道徳的判断力を育てたい。

(3) 資料について「修学旅行の夜」 (出典 新しい道徳)

本教材は、修学旅行の夜、消灯後も大騒ぎしてしまうという現実によくある問題を取り上げ、自由と規律の関わりについて考えさせることができるものである。主人公の班は、「自由にしたい」としながらも「できるだけ静かに寝よう」と約束した。しかし消灯後、次第に楽しい気分になり、まぐら合戦になってしまう。そこに至るまでの主人公の心の動きを、先生の「自由と自分勝手の違いを考えなさい」という言葉を聞いた主人公や班の人たちの気持ちへとつなげることで、ねらいとする道徳的価値に気付かせることができる教材である。

導入では、児童のアンケート結果を提示することで、道徳的価値への動機付けを図る。展開場面では、自由と自分勝手の違いについて考えさせることで、自由とは、自分の自由だけでなく、他人の自由をも尊重することが求められることに気付くことができるようにする。その際、心情円グラフを活用し、自分以外の友達の考えを視覚的に捉えさせ、それをもとに話し合うことで多面的・多角的な考えに気付かせ、自由と自分勝手の違いを考えて責任ある行動をしようとする道徳的判断力を育てたい。

4 本時の学習

- (1) ねらい
自由と自分勝手の違いを考えて責任のある行動をしようとする道徳的判断力を育てる。
- (2) 準備・資料
読み物資料，事前アンケート，板書用資料，ネームプレート，心情円グラフ
- (3) 展開 (○発問 ◎中心発問)

主な活動と発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎評価 ☆課題研のテーマに迫る手立て
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「自由」と「自分勝手」のちがいは何だろうか。</p> </div> <p>(1) 事前アンケートの結果を見て考える。 (2) 教師から提示した行動を「自由」「自分勝手」に分類する。</p> <p>2 資料「修学旅行の夜」を読み、「自由」と「自分勝手」について考える。</p> <p>○自分がこの部屋にいたらどうしますか。それはなぜですか</p> <p>○小さな声で話をするのは「自由」か「自分勝手」のどちらでしょうか。</p> <p>◎「自由」と「自分勝手」のちがいは何だと思えますか。</p> <p>3 自分自身の生活について考える。 (1) 1の活動で分類した行動について見直し，修正する。 (2) 自由に行動するときどのようなことを大切にしたいかワークシートに書く。</p>	<p>(自由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなことができること。 ・だれにもしぼられないこと。 ・時間的なしぼりがないこと。 <p>(自分勝手)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手に行動すること。 ・人のことを考えないこと。 <p>・友達に嫌われるかもしれないから，友達に合わせる。 ・注意はできないけどルールは守るべきだから，自分は静かにする。 ・先生に怒られるから注意する。</p> <p>・小さな声で話をするまでは自由だと思う。 ・小さな声でも，他人に迷惑をかけるから自分勝手。</p> <p>・他人に迷惑がかかるかどうか。</p> <p>・自分の好きなように行動するのが「自由」だと思っていたが，他人に迷惑をかけてしまったら「自分勝手」だということに気付いた。 ・周りのことを考えて行動したいと思った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の「自由」「自分勝手」の捉え方を確認し，授業を通して理解の深まりを感じられるようにする。 ・分類した理由を尋ねることで，どんな基準で分類したかを明らかにする。 ・掲示資料を提示しながら資料の内容に触れ，本時は主人公の気持ちを考えていくことを伝えることで，どんな問題があるのかを考えながら聞くことができるようにする。 ・「しゃべる」「しゃべらない」以外にも，条件付き理由での選択肢があつてよいことを伝える。 <p>〈考えが思い浮かばない児童〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えで，似ているところや違いを考えるように助言する。 <p>☆心情円グラフを活用し，立場を明確にして話し合うことで，個々の意見の違いに気付くようにする。</p> <p>☆心情円グラフを再度活用し，最初と比べて変化した理由を尋ねることで，どんな判断の基準を獲得したかを明らかにする。</p> <p>◎「自由」と「自分勝手」の違いを考えて，責任ある行動をしようとしている。 (ワークシート・発表)</p>